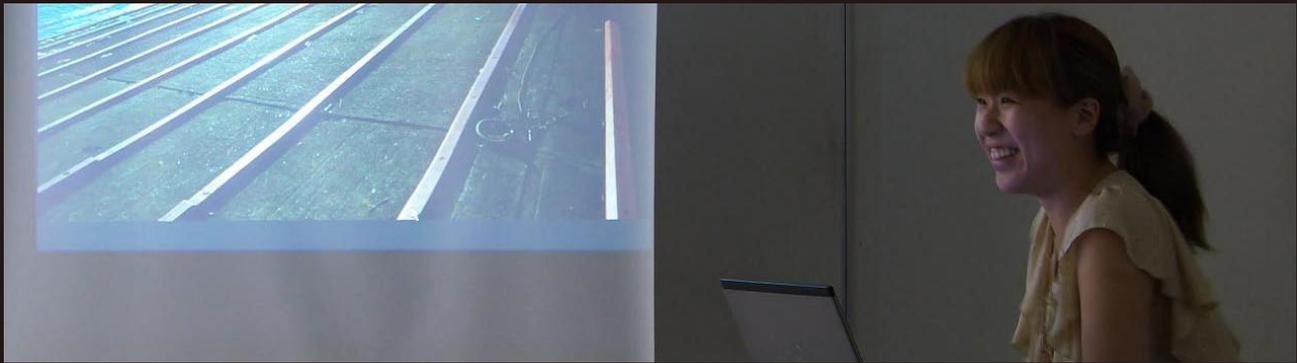


DIGITABLE 第 58 回勉強会レポート

2012 年 9 月 15 日 於：森下文化センター 第一研修室



ライトニングトークでの作品発表 (KM 会員)

Digitable 基礎講座 「(プリント前に) 特定色の調整」：高木大輔講師
参加者全員による“ライトニングトーク”(持ち時間 5 分)
Photoshop 研究講座「SONY NEX7」：平野正志講師

DIGITABLE 写真技術勉強会 (HOME) <http://www.digitable.info>

Digitable 基礎講座 2012 第 5 回

(プリント前に) 特定色の調整：高木大輔講師

カラー画像調整前の最終段階として、例えば肌色や緑など特定色のプリント再現の最適化に向けての Photoshop 上での調整について考察する。

■従来の RGB → CMYK レタッチ

デジタルカメラで撮影～調整された RGB 画像も、プリントや印刷の段階では CMYK に変換されて行われる。商業印刷では入稿後の製版段階で専門の技術者により CMYK 画像に変換されてきた。

CMYK での印刷適性を考慮した調整とは大雑把に比べて CMYK 化によって RGB の色空間による再現性が狭まること、RGB にはない K = ブラック (またはスミ) のチャンネルが、特に肌色や緑色の暗部に濁りを与えることによる。

■ Photoshop での特定色の調整メニュー

Photoshop で、例えば肌色などの赤系や空色、木々の緑系など、指定色のみの変色には主に以下の方法がある

①色の置き換えで調整する

色を拾って、変える分には非常に便利であるが、調節が大雑把で不自然にもなり易い。また調整レイヤー上で使えないので、レイヤーを複製して慎重に適用するなど面倒だ。

②色相・彩度で調整する

単純に色を変えるなら一番分かりやすいが、画像の劣化が激しく、また元が jpeg の場合色が統一されていないので中間域以外は難しい場合が多い。

③イメージ→色調補正→特定色域の選択で調整する

最も自然に色を変更させることが出来るが、好みの色や再度まで調整するのが難しい。

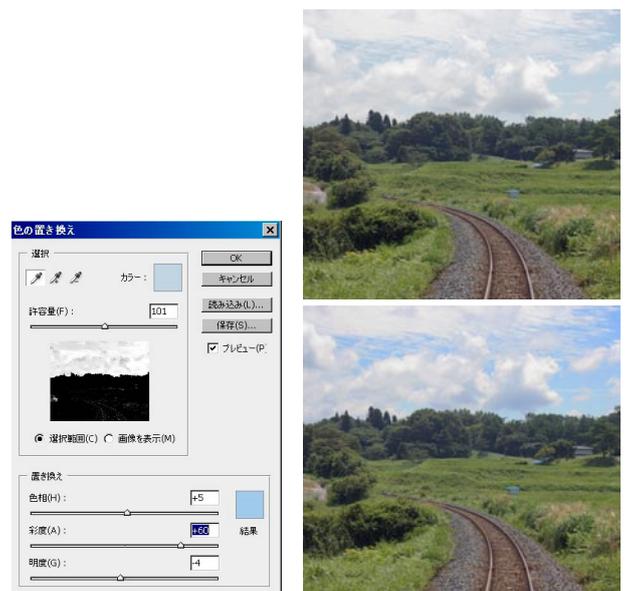
④色域指定による補正

選択範囲→色域指定を使うとターゲットの色を比較的簡単に抽出することが出来る。「色の置き換え」で使ったパレットに近いがこちらの方がより細かい選択が可能だ。

DIGITABLE 写真技術勉強会 (HOME) <http://www.digitable.info>



単純な CMYK 変換で彩度が下がった画像と適切な補正がされた CMYK 画像



色の置き換えは空の演出には特に有効で、かなり薄かったり濁った空色もご覧の通りだ!

参加者全員による「ライトニングトーク」

(各自持ち時間 5分)

NY 会員：ポートレートスタジオでのライティングのテスト

KM 会員：ムービーメーカーを使った「お祭り」のムービー

EY 会員：スチールムービーと KEYWORD の紹介

ST 会員：8×10 フィルの大判プリントと写真展について

SY 会員：写真と映像 i ムービーによる新しい映像表現

MM 会員：伊東での撮影 鮮やかなカラープリント発表

AY 会員：伊東での撮影 モノクロプリント発表

IF 会員：伊東での撮影 ブリッジによるスライドショー

TE 会員：森下でのマンション撮影

KA 会員：伊東での撮影 仕事での農業体験の報告

...

Photoshop 研究講座 平野正志 講師

「SONY NEX7」

ソニーから NEX シリーズ 7 が発売された。CCD サイズが APS-C であり、今使用する一眼と変わらないし、1600 万画素程度が主流の中、この機種の画素数は 2400 万画素、加えて撮影が出来るのも魅力だ。実際に使用してみるとスタンダードの色調も落ち着いた色調で、どちらかといえばニコンにも似ている色調と感じている。

セットのソニー 18-55 を使用したが、中心部まずまず、周辺部難があった。(富士、ニコン用のレンズアダプターも試してみたが共に解像度はまずまずだったが、フォーカス、絞り操作、EXIF に絞り値が記録されないなどが気になった。またマウントの製造精度に多少の問題があるようで、一部着かないレンズもあった。

カメラ自体のファインダー画面は、モニター画面をそのままに覗いてているような感じ。背面のモニターは上下に角度調整も出来、マス目表示も出来る。ファインダー、モニターいずれも 100% 表示なのは魅力。

アダプター使用ではカメラ側のマニュアルフォーカスの設定で、ボタンひとつで拡大表示が出来、ピント確認が正確にできたりと便利な機能も搭載されている。

フォーカスの合焦点部分をカラー表示する機能、色も白、赤など数種選べ、合焦の程度も選べる。ピントが合う部分に色をつけほぼ正確に有っているかどうかを確認できるのも便利であると感じられる。

ISO 感度は ISO3200 程度になると粒状が気になってくるが、この程度までは常用と言えそうで、粒状感はいぶ押さえられている。

DIGITABLE 写真技術勉強会 (HOME) <http://www.digitable.info>



今月の 1 枚：
農業体験での奮闘！？ TE 会員



背面のモニターは上下に角度調整、マス目表示も出来る



アダプターをつけた
ニコンレンズ